

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 電気通信学研究科 情報通信工学専攻 博士前期課程		
氏 名	永留 圭祐	学籍番号	0930052
論 文 題 目	研究コミュニティ知の持続的共有・進化支援		
<p>要 旨</p> <p>実践的コミュニティと位置づけられる大学の研究室における研究コミュニティでは、研究コミュニティにおける共通の目的や理念、経験則などの様々な知識やスキル（研究コミュニティ知）を共有し学びあい、獲得した知識を実際の研究活動に適用することで知識そのものが進化し、かつそれらを継続的に行うことは、研究活動の質を維持し、向上させるために重要であるといえる。しかしながら、これらの研究コミュニティ知は真正な研究文脈に埋もれてしまい、表現されない場合がある。また、表現されたとしても、個人のPCやノートなどに分散してしまい、コミュニティメンバー間での共有が困難な場合が多い。したがって、継続的な研究コミュニティ知の共有・学びあい・進化を支援するためには、日々の研究活動で得られる研究コミュニティ知を手軽に表現でき、かつ効果的な共有・進化を可能にする場を提供する必要がある。さらに、表現・蓄積された研究コミュニティ知を様々な切り口で探索でき、かつ関連する研究コミュニティ知を参照できるよう、研究コミュニティ知を構造化しておくことが必要不可欠である。</p> <p>本研究では、これまでコミュニティ知の表現、共有・学びあい、適用のフェイズからなるコミュニティ知の持続的共有・進化のモデルを提案し、そのモデルをもとにSNSをベースとした研究コミュニティ知の共有・進化支援環境であるHyperblogシステムの開発を行ってきた。本システムではBlogを用いて研究コミュニティ知の表現にかかる煩雑さを軽減し、コミュニティ知を蓄積・共有する場を提供することを目的としている。具体的には、各メンバーから得られるBlogエントリーとして研究コミュニティ知を記録し、Blogエントリーに付与する3種類のタグを設定し、メンバーが付与したタグを介してBlogエントリー間を関連づけることで研究コミュニティ知を構造化する機能を提供する。また、各メンバーがタグをキーとして、関連するコミュニティ知を探索・参照することが可能となっている。</p> <p>また、開発したHyperblogシステムを用いて、筆者らの研究室で長期間Hyperblogシステムを運用したケーススタディを行い、システムの運用可能性とサステナビリティ、コミットメントの貢献度を定量的に調査した。その結果、運用期間全体を通してBlogエントリーの表現・閲覧がなされるという見通しが得られ、サステナビリティの分析の結果から、閲覧数が多いユーザが貢献度の高いBlogエントリーを投稿するという結果が得られた。一方、システム利用における十分なサステナビリティが確保できなかった。</p> <p>そこで、本研究では、サステナビリティを高めるために、進化するエントリーの表現促進による研究コミュニティ知進化支援および、エントリーの閲覧、特に蓄積されたエントリーの閲覧促進のためのエントリー推薦支援の手法の提案し、それらの機能をHyperblogへ実装し、システムの改良を行った。</p>			